

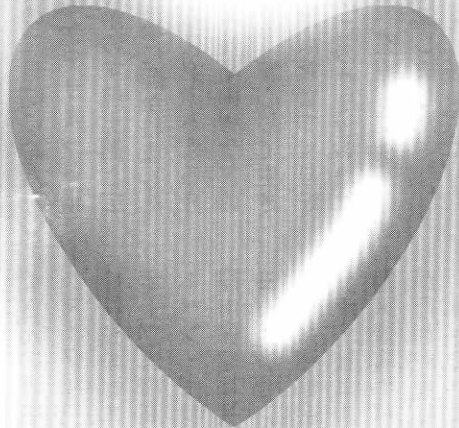
広報



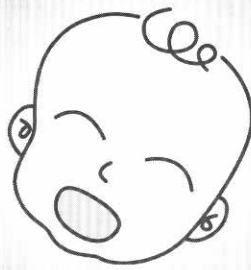
たかのす

TAKANOSU

平成10年
しも霜 つき月



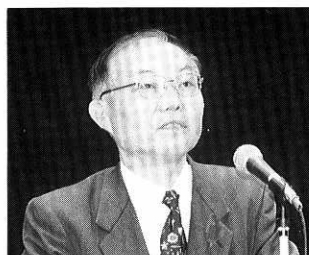
みんなの笑顔が 心のケア



'98 11/1

第五回 全国在宅ケアサミット

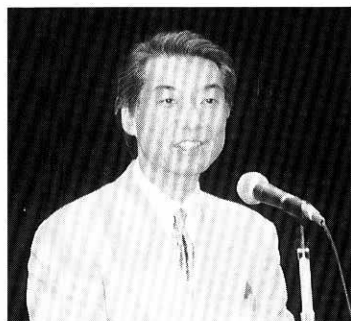
わがまちの介護プランを考える



近藤純五郎厚生省老人保健福祉局長



坂東久美子秋田県副知事



歓迎のあいさつをする岩川町長

十月九日と十日の二日間にわたって「第五回全国在宅ケアサミット in たかのす」が、たかのす風土館と広域交流センターを会場に開かれました。平成十二年度からスタートする介護保険制度と、痴呆性高齢者ケアの今後の方向性を探り、安心して生き生きと生活できる地域社会づくりをめざして開催されたこのサミットには、全国各地から保健、医療、福祉関係者など約千人が出席しました。

講師、コーディネーター、パネリストには、NHK解説主幹の村田幸子氏、さわやか福祉財団理事長の堀田力氏、地方自治総合研究所政策研究部長の池田省三氏など、国内のた

くさんの著名な方々、さらには、デนมールからプライエム「カリタス」施設長のビエギット・ミケルセン氏、オーフス市高齢者委員会委員長のトーベン・ブランド・ニールセン氏、同市保健福祉課長のキャスティン・ヨーゲンセン氏、スウェーデンからは痴呆症協会理事長のステイナ・クラ・ヒュルストローム氏を招いて、基調講演やパネルディスカッションが行われました。

開会式では、岩川町長が「このサミットでは、お招きしたゲストの方々はもちろんですが、全国四十の都道府県からご参加いただいた会場の皆様も主役です。鷹巣町の住民と行政の共同作業で準備した舞台の上で、皆様がどんなことをおやりになるのか楽しみにしています」と、あいさつ、共催した秋田県の坂東久美子副知事が「鷹巣町は、住民と手をたずさえて在宅サービスを積極的に推進しており、全国でも最も先進的な取り組みをしている自治体です。この鷹巣町でのサミット開催は誠に意義深く、活発な議論を通じて介護保険制度が円滑に実施できるよう期待しています」とあいさつしました。

つづいて、来賓として出席した厚生省の近藤純五郎老人保健福祉局長は「介護保険は、介護を要する人へのサービス提供だけでなく、制度を通じて住民参加を考え、新しい地方自治体のあり方も問われることになる。その意味でも、このサミットをぜひとも成果のあるものにしていただきたい」と強調しました。

今号では、数多く行われたプログラムのなかから、厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長の山崎史郎氏、上智大学助教授の橋本一三郎氏、長崎短期大学教授の高橋信幸氏、特別養護老人ホーム「アザレアンさなだ」施設長の宮島渡氏、公立みつき総合病院管理者の山口昇氏をパネリスト、村田幸子氏をコーディネーター、池田省三氏をコメンテーターの「どうする介護保険、どうなる介護保険」と題したパネルディスカッションと、きこエスポアル病院長の佐々木健氏、岩手県立大学教授の野村豊子氏、建築家で京都大学教授の外山義氏、デイケアハウス「このゆびとまーれ」代表の惣万佳代子氏をパネリスト、朝日新聞論説委員の大熊由紀子氏をコーディネーターの「痴呆性高齢者ケアの新しい風」と題したパネルディスカッションについて、概要を紹介いたします。

パネルディスカッション

「どうする介護保険、
どうなる介護保険」

村田氏 介護保険の導入は、圧倒的に不足している介護サービスの増大をめざすとともに、これまでの福祉の仕組みを根本的に変えることとなります。また、それによる新たな地域づくりも期待されています。

全国の市町村では現在、介護保険導入への試みが始まっていますが、この新しい制度の基本的な考え方をふまえたうえで、実務を進めていくことが大切になってきます。

このパネルディスカッションでは、介護保険制度への住民参加をどう進めるか、自治体は何をなすべきか、高齢者ケアの質はどう変わっていくか、の三つのことにしばって話し合っていきたいと思います。

まず、住民参加をどう進めていくか、お話をお願いします。



厚生省老人保健福祉局
老人福祉計画課長
山崎 史郎 氏



上智大学助教授
栃本 一三郎 氏



長崎短期大学教授
高橋 信幸 氏



特別養護老人ホーム
「アザレアンさなだ」施設長
宮島 渡 氏



公立みつぎ総合病院管理者
山口 昇 氏



NHK解説主幹
村田 幸子 氏

住民参加をどう進めるか

高橋氏 介護保険事業計画づくりに住民が直接参加し、地域の問題を自分たちで考え結論を出していく。それが成功すれば、自治体のほかのあらゆる分野にも広げられて、本当の意味での住民自治が進んでいく。介護保険制度は、そういう大きな可能性をもっているのではないかと考えています。

山口氏 住民参加は非常に大きな問題で、いろいろな意味で、住民が保健医療、福祉活動に参加していくという発想が必要だろうと思います。住民参加とは、住民の意見を行政

に反映させていくこと。いいかえると、行政と住民が連携していくことです。これが、住民参加のねらいの一つではないかと思っています。

宮島氏 私たちは、住民とのかかわりのなかで、特別養護老人ホームがはたす役割を考えてきました。そして、地域のなかにはいりこみ、様々な在宅サービスにも力を入れて行っています。これからは、施設と在宅サービスとが一本につながり、コミュニティケアを実現していかなければならないと思います。

栃本氏 介護保険は、国民の皆さんにまだまだ浸透していません。もっと浸透させるためには住民参加が重要となりますが、これからは、ボランティアやヘルパーとしてだけでなく、計画段階、具体的な実施段階、評価する段階という三つの側面で、住民参加がバランスよく行われる必要があると思います。

山崎氏 今、介護保険への関心が高まっていますが、実際にどのように参加していたかという地域

ごとの取り組みが重要となっています。介護保険に関心のある方が、どれだけこの問題を考えて、いろいろ発言をして引っぱっていったいただけるのか。ぜひ、いろんな方に参加していただきたいと思っています。



地方自治総合研究所
政策研究部長
池田 省三 氏

池田氏 介護保険への住民参加については、政策を策定する段階での参加、ボランティアなどサービスの提供での参加、サービスの利用者としての参加、この三つを分けて考え、なおかつ総合的につなぎ合わせていくところから、住民参加がみえてくると思います。

自治体は何をなすべきか

村田氏 つぎに、自治体は何をなすべきかということについて、ご意見をお願いします。

山口氏 保健、医療、福祉の三つのサービスが総合的、一体的に供給されかつ、施設ケアと在宅ケアとがともに連携をとっていくことが重要だと思います。

宮島氏 必要なニーズに対して、どのようなサービスをしていくのかということが大事になります。その地域に合ったサービスの提供を考えていただきたいと思っています。

高橋氏 介護保険計画の進行管理、評価、苦情処理などの問題について議論する組織として、各自治体に介護保険運営協議会を設置されることをご検討いただきたいと思っています。

栃本氏 苦情処理や滞納者対策、サービス評価システムなど、介護保険導入にかかる課題はたくさんあります。これらを行政のなかだけで解決せず、住民参加のシステムをつくって議論することが必要だと思います。

山崎氏 自治体で一番大変なのは計画づくりです。介護保険をつかってその地域は何をやりたいのか。その基本的な政策目標を真剣に考えて、ぜひ計画に盛りこんでいただきたいと思っています。

高齢者ケアの質はどう変わるか

村田氏 最後に、高齢者ケアの質がどのように変わっていくのかについて、ご意見をお願いします。

山口氏 介護の専門の方たちが、可能な限り質というものを考えながらサービスを提供していかなければならぬ。また、サービスを受けるお年寄りの権利や人権を考えていかなければならないと思います。

宮島氏 今、利用者の個々の立場を尊重した介護が求められています。これからは、介護支援ではなく、生活支援を前提とした介護のあり方が大切になると思います。

高橋氏 介護保険を契機として高齢者ケアの質を変えるためには、行政と住民の意識を同時に変えていく必要があるのではないのでしょうか。

栃本氏 これからの高齢者ケアというのは、地域の療養環境を整備して継続的にリハビリを行っていきけるようにしなければなりません。そのため介護保険制度だと思っています。

山崎氏 今後、痴呆性のお年寄りにどう対応するかが大きな問題となっています。そのために、介護保険制度を利用して、グループホームなどの新しい考えのケアを取り入れていただきたいと思っています。

池田氏 介護サービスの質を向上させるためには、内部での評価はもちろん、利用者側のサービス評価委員

会をつくり、継続的にチェックしていく必要があると思います。

村田氏 今までの議論を、現状を受けとめる絶好のチャンスとして、前向きに考えていただきたい。

介護保険制度の導入が決まった以上は、少しでも前に進めるための知恵を出し合うとともに、介護保険を利用しないで暮らせる幸せ、そういう意識の啓蒙もこれからは大切なことではないでしょうか。

パネルディスカッション
「痴呆性高齢者ケアの新しい風」

大熊氏 日本では、寝たきりの高齢者については、北欧の国々にほぼ十五年遅れて、ようやくケアのしかたがわかってきています。しかし、痴呆性高齢者のケアについては、まだよくわからないのが現状です。このパネルディスカッションでは、そのことについて考えてみたいと思います。



朝日新聞論説委員
大熊 由紀子 氏

痴呆性高齢者との生活を大切に



きのこエスポール病院院長
佐々木 健 氏

佐々木氏 私は、今から十五年前に岡山県笠岡市で痴呆性高齢者専門の病院「きのこエスポール病院」を始めました。

日本では、これまで痴呆性高齢者を大きな病院の中で集団で管理していましたが、小さな空間の中で痴呆をもった人を理解できる職員が一緒に生活することによって、今までいわれていたような問題行動のほとんどがなくなっていくのではないかと思っています。

痴呆性高齢者をやっかい者としてみるのではなく、彼らと一緒に生活を大切にするのが、ケアにとって重要ではないかと思っています。

回想法でケアの質を高く

野村氏 人生とは、過去の体験やできごとで織りなされる一枚の織物のようなものだと思います。痴呆性高齢者が良い聞き手に過去の回想を語り、もつれたものを一つずつときほぐし、



痴呆性高齢者ケアの新しい風



岩手県立大学教授
野村 豊子 氏

またつくりあげていく。回想法とは、とても創造的な方法ではないかと考えています。

職員の考え方が変わらなければ、痴呆性高齢者のケアの質は高くなりません。回想法は、職員の視点を変えるところでもあります。

空間もケアの重要な要素



建築家・京都大学教授
外山 義 氏

外山氏 空間も環境の一つとして、痴呆性高齢者がその人らしく生活することをサポートするための重要な要素です。

これまでは、彼らがなじんできた生活空間とかけ離れたコンクリート

の箱に、お年寄りを押しこめていなかったのか。そのような環境の中で行動を強制したりコントロールしたりすると、彼らにとっては大きなストレスとなってしまいます。空間が豊かであれば、そこでの行為も自然に豊かなものになるのではないかと、私は思っています。

家庭的な中でケアを大切に



デイケアハウス「このゆびとーまれ」代表
惣万 佳代子 氏

惣万氏 デイケアハウス「このゆびとーまれ」は、赤ちゃんからお年寄り、障害をもった方まで、誰もが必要に応じて利用できる施設として、5年前に開設しました。

ここには日課が全然ありません。家庭的な雰囲気の中で、子どもと一緒に笑ったり遊んだりすることが、痴呆性高齢者にとってはどんなにハッピーよりもいいと思っています。

痴呆のお年寄りが子どもたちに囲まれて普通に暮らす。そのような日本の文化を大切にしたいユニークな施設が、日本のあちこちにできればいいと思っています。

痴呆性高齢者ケアに新しい風を
大熊氏 日本では今、痴呆性高齢者のケアに新しい風が吹き込もうとしています。そのためにご意見をお願いします。

佐々木氏 痴呆性高齢者のための施策に現場の声を取り入れていただくためにも、私たち現場で働く者が、もつと大きな声で意見を言わなければならぬと思います。

野村氏 お年寄りが生きていくことへの援助について若い方が習得されると、痴呆性高齢者のケアも変わってくるのではと期待しています。

外山氏 痴呆性のお年寄りは、ストレスに弱くとても正直です。彼らが不思議な行動をするときは、ケアのあり方や環境に問題があるということではないかと思っています。

惣万氏 日本のあちこちに、子どもからお年寄り、障害をもった方までが一緒にはいれるような小さな施設ができ、そして、公的にも援助していただければと思っています。

大熊氏 葉でおとなしくさせたり、閉じ込めたり、ことばで束縛したりと、残念ながら日本では、このような古い風が吹きまわっています。

これからは、自治体をはじめ住民の皆さんが、自分自身のことと考えて目くばりをしながら、痴呆性高齢者のケアに新しい風を各地で吹かせていただきたいと思います。

ロータリー一年次大会 アグネスさんが講演 奉仕の心で子どもたちにやさしさを

国際ロータリー第二五四〇（秋田県）地区の年次大会が、十月三日と四日の二日間、「ロータリーの夢を追い続けよう」をテーマに鷹巣体育館で開催されました。

大会には、県内四十三クラブのほか、県外や韓国からもたくさんの方々が参加し、出席した約七百人のロータリアンたちは、奉仕と友愛の心を確かめ合いながら、お互いの交流を深めていました。

本会議のなかで、来賓として出席した岩川町長は「人々の価値観が多様化しているなかで、どのようにして地域に還元していくかが問われています。それはロータリーの理念にもつながるはずであり、今後のみなさんのますますのご活躍を期待します」とあいさつ、つづいて小林茂ガバナールが「次の世代を担う子どもたちこそ、未来そのものです。すべての子どもたちに思いやりの愛の手がいきわたるように、夢を追い続け努力していこう」とあいさつしました。

大会二日目には、タレントで、初の日本ユニセフ協会大使として活躍しているアグネス・チャンさんの記念講演を行いました。



記念講演をするアグネス・チャンさん



約700人が参加したロータリー一年次大会

念講演が行われました。

アフリカやベトナムなど世界各国で熱心なボランティア活動を行っているアグネスさんは、『小さな命からの伝言―二十一世紀へのメッセージ』と題して講演しました。

そのなかで、アグネスさんは「世界中のいろいろな国の子どもたちに接していますが、みんな純真で私自身が学ぶことの方が多し。子どもたちとの出会いは、私の人生の宝だと思っています。今、地球上では戦争や貧しさで多くの子どもたちが亡くなっています。争いや貧困のない平和な世界が実現することを願っています。人のやさしさを信じ、そのやさしさが少しでも子どもたちに届くよう、これからもみなさんと一緒にボランティア活動を続けていきたい」などと話していました。

町長日誌

10/1
〜
15

- 1日（木）人事異動にともなう職員に異動通知書を交付した。
- 1日（木）鷹巣町役場機構改革検討委員会に出席。
- 3日（土）国際ロータリー第2540地区1998〜99年度地区大会に出席。
- 4日（日）国際ロータリー第2540地区1998〜99年度地区大会に出席。
- 5日（月）大館能代空港地域活性化懇話会に出席。
- 5日（月）第19回「いけばな松生派鷹巣支部展・北プロック展」に出席。
- 6日（火）大館能代空港の冬期間の利用率向上を図るため、ツアー企画商品を発表、「圏域の人々に格安ツアーを楽しんでもらい、最終的には東京二便化を早期に実現したい」と利用を呼びかけた。
- 6日（火）「サテライト3号施設」建設工事に棟式に出席。
- 9日（金）第5回全国在宅ケアサミットinたかのすに出席。「きょうは日本の福祉を代表するような方々に参加を願った。また全国40都道府県から出席していただいた皆さんもまた主役です。サミットという舞台は、行政と住民が共同で準備したものであり、介護保険導入のための環境づくりに役立ててほしい」とあいさつをした。
- 10日（土）第5回全国在宅ケアサミットinたかのすに出席。
- 10日（土）東京綴子会ふるさと交流会に出席。
- 14日（水）米代川流域地方拠点都市地域整備協議会役員会に出席。

やさしさがテーマのまちと車です 「臨空都市“たかのす”のこれから」

～中心市街地のまちづくりとシルバービークルの提案～

あきた北空港が7月18日に完成し、中心市街地が町の顔として果たす役割が大きくなっています。

また、高齢者になって、何らかの理由で車の運転が困難を伴うようになったときでも、人に乗せてもらわなくても、町の中心街に行き、買い物などができる。

それを可能にしたいと「高齢者に優しく、簡単に運転できる低速の車両」として開発されているのが「シルバービークル」です。

シルバービークルを高齢者が使うようになったら生活がどのように変わるか、また、それに合わせた地域の道路や中心部をどのようにしたら良いのか。

このシンポジウムで一緒に考えてみませんか。

- 日 時 平成10年11月10日（火）午後3時～5時
- 場 所 鷹巣町役場3F 大会議室
- 内 容

○基調講演 15:00～15:30

演題 臨空都市“たかのす”の発展と課題
秋田大学教授 清水 浩志郎氏

○パネルディスカッション 15:30～16:45

テーマ：中心市街地のまちづくりとシルバービークルの提案

コーディネーター 秋田大学教授 清水 浩志郎氏

パネリスト 鷹巣町長 岩川 徹氏

東京大学助教授 鎌田 実氏

建設省東北地方建設局

企画部広域計画調査課長 西野 仁氏

通商産業省機械情報産業局

医療・福祉機器産業室調整係長 福田 実氏

◎お問い合わせは、役場地域政策課地域振興係（☎62-1111 内線232・233）まで

平成10年度

鷹巣町社会福祉大会

老人福祉大会

日時 平成10年11月13日（金）
午前9時30分～正午

場所 たかのす風土館（ファルコン）

式典 各種表彰 体験発表 講演

※どなたでもご自由にご参加ください。

金婚・ダイヤモンド婚対象の方々へ
はご案内をさしあげておりますが、該
当される方で案内されていない方は福祉
保健課へお問い合わせください。

主催 鷹巣町・鷹巣町社会福祉協議会・鷹巣町老人クラブ連合会

住民と一体となる行政を

― 地方分権推進フォーラム ―

秋田県北秋田地方部主催の「地方分権推進フォーラムin北秋田」が十月十五日、鷹巣阿仁広域交流センターで開かれ、自治体職員や議員、地域住民など約百二十人が出席して、地方分権や行政のあり方などに理解を深めました。

フォーラムでは、はじめに池田齊北秋田地方部長が「地方分権は地域づくりにも大きな影響を与えます。今日のフォーラムを、自ら地方分権に積極的に取り組むきっかけにしてください」とあいさつしました。

つづいて、全国知事会地方分権推進本部事務局長の上村章文氏による「何がどう変わる」地方分権の概要と展望」と題した基調講演が行われ、そのなかで上村氏は「地方自治体の仕事は



熱心に意見が交わされたパネルディスカッション



多くの行政関係者が地方分権に理を深めましたを

委任事務が多く、住民よりも国の方を向いて仕事をしているのが現状。地方分権は自己責任が問われる。これからの地方行政は住民と一体となつて政策を進めていかなければならない」とどと強調しました。

このあと、上村氏のほか、比内町長の沢清治氏、ミネソタ州立大学秋田校総務部長の須田幸子氏、鷹巣町商工会長の松森正氏をパネリストに、秋田魁新報社論説副委員長の奈良年明氏をコーディネーターに「分権型社会における地方行政への期待」と題したパネルディスカッションが行われました。

このなかでは「権限の委譲は歓迎するが財源の確保が大きな課題」「財源となる税金は住民をいかに納得させる賦課をできるかが重要となる」「地方分権には人材育成が不可欠」「人材を地方に取りもどすことが重要」「これからは創造型の人間の確保が必要となる」などの意見が出されました。

バスケットに若い力を発散

― 米代川エリアフェスティバル ―

十月十日、米代川流域地方拠点都市地域整備協議会（会長＝小畑元大館市長）主催の米代川エリアフェスティバルが、秋田内陸線鷹巣駅前のイベント広場で開催されました。

米代川流域の若者たちがストリートバスケットなどのイベントを通じて交流を深めてもらおうと開かれたもので、大勢の人たちが会場を訪れました。

ストリートバスケットボール大会には、流城市町村から十五チームが参加して、華麗なテクニクで熱戦が展開されました。

また、各市町村の特産品の販売や焼き鳥などの屋台、大館曲げわっぱ太鼓の演奏などに会場は大いに盛り上がりつつありました。





子どもの心の動きを見つめて

— 鹿角・大館 公開保育研究会が開催 —
北秋田

昨年度から二か年にわたって行われている保育内容専門講師派遣事業の公開保育研究会が十月十六日、鷹巣町を会場に開かれ、鹿角、大館、北秋田の保母や保育関係者が参加して「心の動き、育ちを見つめて」をテーマに、よりよい保育のあり方を探り合いました。

この日ははじめに、鷹巣保育園（岡村宣園長）で公開保育が行われ、参加者たちはホールや園庭などで生き生きとした表情で遊ぶ子どもたちの様子を熱心に視察しました。

そのあと、広域交流センターに会場を移し研究会が行われ、これまでの研究成果の発表や分科会、講演などを通じて、子どもや家庭とのかわりについて研修を深めていきました。



全国地域 安心できる街をつくろう

— 車両パレードで防犯をよびかける —

全国地域安全運動が十月十一日から二十日までの十日間、全国一斉に行われましたが、町では十二日、鷹巣警察署前駐車場において町防犯指導隊や防犯協会などの関係者が参加し、車両パレード出発式を行いました。

この運動では、「みんなで作ろう安心の街」をスローガンに、期間中は車両パレードのほか、薬物乱用防止の「声かけ運動」などを行い、地域の安全を訴えました。

出発式では、防犯功労者として佐藤秀信さん（坊沢）、津谷富男さん（坊沢）、防犯協会婦人部に表彰状が贈られ、出発式終了後、パトカーを先導に車両十台がパレードを行って、犯罪のない地域社会づくりを呼びかけました。

ウォーキングに心地よい汗

— 体育の日に「町民健康の集い」 —

「体育の日」の十月十日、鷹巣体育館を会場に「町民健康の集い」が開かれ、ラジオ体操操百日運動の表彰（九団体、二百三十四人）のあと、あきた北空港から約五キロの道のりを歩く健康ウォーキングが行われました。

この日は、心配された雨もあがって、ちょうどよいウォーキング日和となったため、参加した約八十人の人たちは、まわりの景色をながめながら一時間ほど歩いて、心地よい汗を流していました。

また、この日は体育館やプールが無料で開放されたため、約百五十人の人たちが体育館を訪れ、一人ひとりが思い思いにスポーツを楽しんでいました。



健康広場

福祉保健課からのお知らせ

予防接種

持参 予診票
母子健康手帳

受付 午後1:00～1:30

ツベルクリン反応

11月17日 鷹巣地区
11月18日 鷹巣地区以外

BCG

11月19日 鷹巣地区
11月20日 鷹巣地区以外

規則正しい生活習慣で 糖尿病を予防

2～8日は全国糖尿病週間です

<糖尿病ってどんな病気？>

現在、四十歳以上の十人に一人が糖尿病と言われています。急増している要因は、飽食、運動不足、社会生活上のストレスの増加など、現代社会の豊かな生活習慣が背景にあると考えられます。

インスリンの働きが悪くなって血液中のブドウ糖の値が慢性的に高くなっている状態を糖尿病といいます。

糖尿病の初期には、自覚症状がなく、健康診断で初めて糖尿病になっていたことがわかるというケースが最も多いようです。

糖尿病に気づかずいたり、放置していると糖尿病性網膜症、腎症、神経障害、といった合併症が起こってきます。

<糖尿病予防のポイントとは？>

ストレス予防・運動・栄養を日常生活の中に適切に取り入れることが糖尿病予防の三原則です。

★ストレス予防：ストレスをためず、上手な気分転換や休養で精神面のリフレッシュを

★運動：運動の基本は毎日の生活の中でこまめに歩くこと。一日8千歩から1万歩を目安に歩きましょう。

★栄養：偏食せず、いろいろな栄養素をバランスよく摂取し一日三食を規則正しく取ることが重要です。

めざそう!健康ライフ 「健康の広場」にあつまれ!

場所

日時

鷹巣町保健センター

9時半～16時

平成10年11月11日(水)

【食生活コーナー】

“毎日の食生活で防ぐ生活習慣病”パネル展示や栄養相談、試食があります。

【親子遊びコーナー】

生後5か月～3歳児のお子さんのいる方、保母さんと一緒に親子遊びをしませんか。

【その他のコーナー】

【歩みの会展示コーナー】
【子育てサークル展示コーナー】
【トマトの会展示コーナー】

【健康づくりコーナー】

かくれ肥満をチェックしよう!
体脂肪率の測定や、生命の貯蓄体操の実演があります。一緒にやりませんか。

【歯科保健コーナー】

お子さんの虫歯、歯槽膿漏、入れ歯のことなど歯に関して悩んでいませんか。歯科医師、歯科衛生士が相談にのります。

【講演】

骨そしょう症予防について、医師による講演があります。骨そしょう症を予防する知識を高めると共に、骨折や寝たきり予防も一緒に考えてみましょう。

11月の健康ごよみ

◎お問い合わせ
鷹巣町保健センター ☎62-6666

※特に場所の指定のない日程はすべて保健センターで行います。
15日以降の日程で未掲載分は次号に掲載します。

生き生き健康教室 (第1回)

日程: 11月11日(水)
時間: 午後1時～3時
場所: 鷹巣町保健センター
内容: 「骨粗しょう症予防について」
北秋中央病院整形外科科長 伊藤淳二氏
→次回は11月25日(水)

健康相談

◎定例健康相談 (保健センター)

日程 25日(水)
時間 午前10:00～12:00 午後1:00～3:00
内容 健康相談、血圧測定、尿検査
健康教育「腎臓病を予防する日常生活」

◎いきいき健康相談 (鷹巣町訪問看護ステーション)

日程 毎週火金 午前9:30～午後4:00
(祝日を除く)
内容 血圧測定など

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

日	曜	医療機関名	電話番号
1	日	近藤 藤 医 院	62-1155
2	月	津 谷 内 科	62-2261
3	火	北 秋 中 央 病 院	62-1455
4	水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
5	木	遠藤クリニック	63-0515
6	金	たむら内科クリニック	63-2700
7	土	佐藤外科消化器科医院	62-1420
8	日	奈 良 医 院	62-1146
9	月	鷹 巣 病 院	62-1210
10	火	藤 原 医 院	62-2882
11	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
12	木	盛岡外科医院	62-1101
13	金	北 秋 中 央 病 院	62-1455
14	土	と し ま 医 院	62-1267
15	日	津 谷 内 科	62-2261
16	月	戸 嶋 産 婦 人 科 医 院	62-1123

◎応急の診察を要する患者。
◎往診はしておりません。
◎仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。
応じかねます。

妊婦の方

◎母子健康手帳交付と第1回母親学級

日程 2日(月)・16日(月)
時間 受付 午後1:00～1:10
終了 午後3:00頃

持参 印鑑

◎第2回母親学級

日程 12日(木)
受付 3日前まで申し込みください
時間 午後1:00～4:00

持参 母子健康手帳・テキスト

※動きやすい服装でおいでください

キッズパーク (子育てサークル)

日程 2日(月)・11日(水) ←日程変更
時間 午前10:00～11:30
内容 親子遊び・話し合い・相談など

平成9年12月、10年1月生まれのお子さんのいる方

◎10か月児育児相談

日程 10日(火)
時間 受付 午前9:30～9:40

持参 母子健康手帳・アンケート票
バスタオル

平成8年8月9月生まれのお子さんのいる方

◎2歳児歯科健康診査

日程 10日(火)
時間 受付 午後1:00～1:10
持参 母子健康手帳・アンケート票
歯ブラシ・バスタオル

平成7年6月7月生まれのお子さんのいる方

◎3歳児健康診査

日程 4日(水)
時間 受付 午後0:30～0:50
持参 母子健康手帳・問診票・歯ブラシ
バスタオル・尿容器

生命の貯蓄体操の日程

◎各会場の日程と時間

(午前9時半～11時半)
鷹巣町保健センター 2・9・16・30日
綴子基幹センター 4・11・18・25日
坊沢公民館 4・11・18・25日
七日市基幹センター 5・12・19・26日
葛黒林業センター 5・12・19・26日
青葉荘 6・13・20・27日
(午後7時～9時)
地域福祉センター 4・11・18・25日
沢口林業センター 5・12・19・26日
榮生活改善センター 4・10・17・24・30日

家庭用 粗大ゴミ

今年2回目の受付を開始します

- 必要なもの 粗大ゴミを捨てるには許可が必要です。
下記申込期間に、役場の窓口で申請して許可を受けてください。
印鑑を持参してください。
- 申込受付期間 平成10年11月9日(月)～11日(水)
午前8時30分～午後5時15分
- 搬入は 町営ゴミ埋立地(栄字徳左工門谷地内)
- 搬入期日 平成10年11月14日(土)・15日(日)
午前8時30分～午後4時
- 搬入できる粗大ゴミ 大型テレビ(25インチ以上)、冷蔵庫、洗濯機、家具類等、
縦横高さのうち一辺が1mを超えるもの(スキー等)
- 手数料 無料です。



※受付期間内に申請できなかった方や、受付時に申請したもの以外のものは搬入しないようお願いします。
各地区の町内で巡回し、一括搬入される場合は、事前に役場の窓口までご連絡ください。

一般家庭粗大ゴミに限り
ますので、農機具や商品
ケースなどの事業粗大ゴ
ミは搬入できません。

高齢者世帯やその他やむを得ない理由で 自己搬入できない方はご相談ください。

- 受付期間 平成10年11月12日(木)・13日(金)
午前8時30分～午後5時15分(電話でも結構です)
- 運搬期間 受付後連絡いたします
- 手数料 無料

平成10年

秋の火災予防運動

11月1日(日)～11月7日(土)

気をつけて
はじめはすべて
小さな火

11月9日は119番の日です

お知らせ

ゴミ埋立地の時間変更

鷹巣町営ゴミ埋立地の受入時間が

11月～2月までの間、

冬季時間の

午前8時30分～午後4時
までとなります。



中央公民館

☎62-1130

10・30(金)～11・5(木)
第30回鷹巣町文化祭(展示)
(詳しくは広報P16をご覧ください)

【11月ロビー展】「宮野雄治作品展」

11・12(木)文化祭協賛行事「古典を読む会」
(研修室)
11・14(土)文化祭協賛行事「史談会」 (大教室)



スポーツ

☎62-3800

10・31(土)～11・1(日)
第15回鷹巣町産業祭 鷹巣体育館
11・9(月)10(火)12(木)13(金)
町民バレーボール大会 鷹巣体育館
11・14(土)大館北秋剣道連盟形講習会 鷹巣体育館
11・15(日)大館北秋剣道連盟昇段審査会 鷹巣体育館
11・22(日)鷹巣町バドミントン総合選手権大会
鷹巣体育館
11・28、29、30(土～月)県北高校新人バスケットボール
大会 鷹巣体育館



ファルコン

☎62-3311

10・31(土)～11・3(火)
第30回鷹巣町文化祭
(詳しくは広報P16をご覧ください)
11・5(木)軽音楽の夕べ「ストーンレークス演奏会」
無料/自由 19:00～21:00
11・8(日)婦人芸能祭
前売600円当日800円/自由
①9:00～12:00
②13:00～16:00
11・10(火)平成10年度ふるさと教育実践交流会
無料/自由 9:30～16:00
11・13(金)鷹巣町社会福祉大会・老人福祉大会
無料/自由 9:30～12:00
11・14(土)映画「一本の手」上映会
(主催/鷹巣町老人クラブ連合会)
前売当日共1000円/自由
10:00～11:45
※お問い合わせは、社会福祉協議会(☎63-2109)まで
11・15(日)第24回秋田県PTA研究大会
大館北秋田大会(関係者)9:30～16:00
11・19(木)映画「プラス!」上映会 19:00～
前売一般1200円中高900円/自由
11・21(土)おはなしでてこい
絵本の読み聞かせなど 14:00～15:00
11・23(月)第8回鷹巣祇園太鼓審査会
無料/自由 13:30～16:30
11・29(日)第3回北の杜音楽団コンサート
前売当日共350円/自由14:30～16:30
11・29(日)鷹巣讃歌発表会&音楽祭
無料/自由 18:30～

お知らせ

JR花輪線写真コンクール

- 題材 JR花輪線沿線の風物詩や自然、人物、風景などでポスターに活用できる作品
- 規格 カラー・スライド35ミリ判以上、プリント不可
- 賞 ・最優秀賞1点 (5万円相当旅行券) ・優秀賞2点 (1万円相当旅行券) ・特別賞3点 (5千円相当特産品)
- 応募方法 ①作品の裏面に題名、撮影場所、住所、氏名、職業、電話番号を明記した自作の応募票を貼付のこと。②作品は未発表に限り、一人5点までとする。
- 応募期間 平成10年9月中旬～12月31日
- 発表 入選者に直接通知(平成11年1月審査予定)
- ◎応募先 〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 鹿角市役所 総務部企画課内 JR東日本花輪線整備促進期成同盟会事務局 ☎0186-30-1111
- その他 ①入賞作品の著作権は主催者に帰属し、応募作品は返却しません。②郵送中の事故については、その責は負いません。③人物が被写体の場合は、本人から応募についての承諾を得ること。

11月から (11月1日～11月30日まで)

「あきた北空港」の発着時刻です

どうぞご利用ください

東京便

羽田 → あきた北 → 羽田
11:40→12:45 13:35→14:45

大阪便

大阪 → あきた北 → 大阪
14:10→15:20 15:50→17:25

札幌便

※札幌便は来春まで運休となります。

※それぞれの便に合わせて、リムジンバスが運行されていますので、どうぞご利用下さい。

(鷹巣駅～営業所～空港)

◎バスのお問い合わせ

秋北バス鷹巣営業所 ☎62-1178

相談

クレジット・サラ金110番
無料電話相談を行います

クレジット・サラ金被害者救済を目的とし、次の要領にて、第3回目の無料電話相談の実施（クレ・サラ110番）を計画しております。

- 名称 クレジット・サラ金110番
 - 日時 平成10年11月7日（土）
午前10時から午後4時まで
 - 電話 ☎018-824-0187または☎018-824-0055
 - 場所 秋田市山王6丁目3番4号
秋田県司法書士会館
 - 主催 秋田県青年司法書士会
- ※照会連絡先 大曲市須和町秋田県青年司法書士会
（会長） 日沼達雄 ☎0187-63-2088

ぜんい

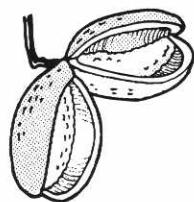
ありがとうございました

香典返し

- 土佐ふじ美さん（東上綱）から亡父 孝一さん
- 桜庭 友治さん（蟹 沢）から亡父 寅蔵さん
- 河田 恭一さん（住吉町）から亡母 ツヤさん
- 成田江利子さん（住吉町）から亡父 健一郎さん
- 加藤 純子さん（坊沢羽立）から亡父 近藤芳蔵さん
- 長崎 修一さん（緑ヶ丘）から亡母 ミネさん
- 藤嶋 茂治さん（太 田）から亡母 フテさん
- 越後屋ミヨさん（高野尻）から亡夫 末吉さん
- 藤原 忠雄さん（舟 場）から亡母 長スミさん
- 成田 肇さん（宮前町）から亡父 倉蔵さん

善意

- 鷹巣愛鳩会から一般寄付として7千円



税の納期限

町県民税 3期
国民健康保険税 4期

11月2日まで

お知らせ

老齢福祉年金の証書を
交付します

年3回（4月、8月、12月）支払いの老齢福祉年金の証書を、次の日程で交付します。

- 期間 11月2日（月）～10日（火）
 - 時間 午前9時～午後5時
 - 場所 住民生活課年金係（役場1階②番窓口）
☎62-1111内線126・127
 - 持参するもの 保管証・印鑑
- ※なお、老齢福祉年金は、11月11日から受け取ることができます。

お知らせ

平成11年用

お年玉付年賀はがき発行

- 発売日 平成10年11月2日（月）から
 - 種類▶無地 50円▶無地（目の不自由な方用）50円
▶無地（インクジェット・パソコン用）50円
▶無地（版画用・再生紙）50円▶絵入り年賀はがき 55円（うさぎ・万両とホオジロ・犬っこまつり）
- ※年賀ハガキの寄付金は地球環境の保全や社会福祉等のために使われております。

お知らせ

秋田桂城短期大学

「地域社会学科」の
コース名と指導内容が変更

- 行政コースが「地域プランニングコース」に
公務員にとって必須な学問、経済人として必要不可欠な多角的学問を配し、これからの地域社会の行政・産業にかかわる人材を育成します。
 - 経営コースが「情報ビジネスコース」に
地域産業・情報発信の担い手となる為、情報関連業務に必須な科目と地域産業の経営に関する体系的な学問を配し、国家試験の「システム・アドミニストレータ試験」や「第2種情報処理技術者試験」の資格取得を目指します。
- ※両コースとも公務員志望者のための「公務員試験受験講座」を受講できます。
- 平成11年度入学者試験日
推薦入学試験 平成10年11月14日（土）
一般入学試験 平成11年2月5日（金）
- ◎お問い合わせ先
秋田桂城短期大学 学務課 ☎（0186）43-6510

慶弔だより

10月1日～15日まで届出分・敬称略



お誕生おめでとう
ございます

山内 ^{かずみ} 和美 (繫壽美) 二女 小 田
堀部 ^{あやの} 綾乃 (雅彦) 二女 葛 黒
長岐 ^{ゆな} 優菜 (重信) 長女 七日市本郷
玉造 ^{こうたけ} 広大 (智広) 長男 深 沢



お二人の前途を
祝福します

(藤 嶋 ^{ちから} 力 舟 見 町
中 嶋 ^{りょうこ} 綾子 伊 勢 町
青 木 ^{りょうすけ} 良 輔 内 幸 町
伊 藤 ^{えり} 恵 里 内 幸 町
柴 田 ^{たもつ} 保 新 田 中
田 添 ^{なつこ} 奈津子 新 田 中
武 村 ^{のぶゆき} 信 之 秋 田 市
花 田 ^{かおり} 香 織 掛 泥

おくやみ申し上げます

富田 ^{いさお} 勇 (71歳) 東 横 町
佐藤 ^{よいちろう} 与一郎 (91歳) 綴子下町
長 スミ (78歳) 舟 場
中嶋 ミエ (84歳) あけほの町
藤本 ツエ (90歳) 新 田 中
成田 キフ (71歳) 坊沢新屋敷
高橋 エツ (85歳) 旭 町
岩谷 シフ (91歳) 摩 当
間瀬 ユリ (74歳) 小 森
成田 シカ (89歳) 米 代 町
米澤 ^{ひろこ} 浩子 (34歳) 米 代 町
泉 ^{けいいち} 敬一 (72歳) 大 堤



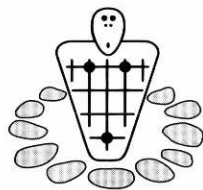
のことば



10月9日、10日に第5回全国在宅ケアサミットが、たかのす風土館、鷹巣阿仁広域交流センターを会場に開催されました。

第5回全国在宅ケアサミットには二つの会場を合わせ、約1000人の方々が全国から参加し、2日間の日程のあいだ熱心にメモを取りながら、パネルディスカッションや講演に聞き入っていました。

2日間のパネルディスカッションや講演には、日本を代表する福祉・保健・医療の見識者や遠くデンマーク、スウェーデンの専門家が集い、介護保険が施行されるに当たって、これからはなければならないことや現状の課題、これからの住民参加のあり方などについて話し合われました。(詳細はP2～5)



伊勢堂岱遺跡

～古代のロマンにふれてみませんか～

発掘調査現地報告会

を開催します

鷹巣町が調査を進めている「伊勢堂岱遺跡」は、国内最大級ともいわれる環状列石で、今年も多くの見学者が訪れました。

平成10年度の調査は予定どおり進められ、この10月末をもって終了しましたが、今年度の発掘調査の成果について現地報告会を開催します。ふるってご参加ください。

日時 平成10年11月15日(日) 午前10時から12時まで
(公開は15時まで)

場所 伊勢堂岱遺跡 (内陸線小ヶ田駅付近)

◎お問い合わせ 教育委員会生涯学習課 文化・遺跡係
(☎62-1111内線426) まで

主催：鷹巣町教育委員会

第30回鷹巣町文化祭

テーマ 「すきです鷹巣 輝くふるさと」

●期間 平成10年10月31日(土)～11月3日(火) 4日間

1 (日)

- たかのす風土館
民謡まつり (PM 1:00～PM 5:00)
ロックバンド (PM 6:30～PM 8:30)
- 広域交流センター会場
手づくり村・フリーマーケット (AM10:00～PM 3:00)
・切り絵・陶芸・押し花・小物作り・折り紙・ハーブ・さぶる石けん・消費者の会(リサイクル)
・消費者の会フリーマーケット
ダンスのタベー社交ダンス (PM 7:00～PM 9:00)

- 体育館・サブ体育館

第15回鷹巣町産業祭 びっくり商業祭

長谷川裕二(①AM11:00～正午②PM1:30～2:30)
津軽三味線演奏
わくわく抽選会
ミニSL運行 (AM10:00～PM3:30)

無料バス運行中 (約1時間ごと)
交流センター ↔ 公民館 ↔ 体育館

【協賛行事】伊勢堂岱遺跡見学会(現地)

①AM10:00～11:30②PM1:00～2:30
定員25名 中央公民館前出発

【展示】

- 中央公民館
10月30日(金)～11月5日(木)
(AM9:00～PM9:00 5日はPM5:00まで)
- 1階 ◇生涯学習展◇洋画展 ◇写真展
・陶芸展◇俳句展◇盆栽展(講座)
◇おかあさん食堂(～11月3日まで)
 - 2階 ◇日本画展 ◇英国祭展
◇伊勢堂岱遺跡展(～11月3日まで)
 - 3階 ◇幼・保育園児作品展◇書道展
◇小中学校作品展(～11月1日まで)
◇生け花展 (11月3日～5日まで)
ファルコン
10月31日(土)～11月3日(火)
(AM9:00～PM9:00 3日はPM5:00まで)
 - ◇藤株遺跡、胡桃館遺跡展示
◇「成田直衛展」◇さつき展
◇図書館ボランティア「たまたまてばこ」作品
展示(10月30日～11月1日AM9:00～PM9:00)
みちのく子供風土記館
◇故渡辺喜恵子(直木賞作家)コーナー
◇神成滯(陶芸家)コーナー

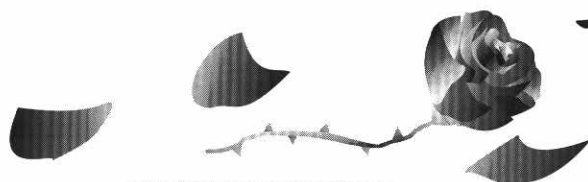
ち
ら
っ
と
い
こ
う

2 (月)

- たかのす風土館
歌謡発表(カラオケ) (PM 1:00～PM 3:00)
- 広域交流センター会場
フォークダンス (PM 7:00～PM 9:00)

3 (火)

- たかのす風土館
邦雅祭(バレエ発表含む) (AM10:00～PM 5:00)
お茶席 (AM10:00～PM 3:00)
- 広域交流センター会場
ちびっこ将棋大会 (AM 9:30～PM12:30)
お茶席 (AM10:00～PM 3:00)
太極拳 (PM 2:00～PM 5:00)
レクリエーションダンス (PM 7:00～PM 9:00)



その他協賛行事等の日程

- 中央公民館
11月12日(木) (PM 1:00～ 4:00)
◇鷹巣町古典を読む会
講話「古典文学に生きる女性の生き方」
講師 藤原 興道氏
- 11月14日(土) (PM 1:30～ 4:50)
◇史談会 テーマ「鷹巣村草創350年を語る」
11月14日(土) (PM 1:30～ 4:00)
◇俳句会
- たかのす風土館
11月5日(木) (PM 7:00～PM 9:00)
◇軽音楽のタベ(ストンレークス演奏)
11月8日(日) (AM 9:00～PM 5:00)
◇鷹巣町婦人芸能祭
11月29日(日) (PM 6:30～PM 8:30)
◇「たかのす讃歌発表」&音楽祭
- 其他のお会場
10月31日(土)～11月1日(日) (AM 9:30～PM 3:30)
◇寺田服装専門学校作品展示 寺田服装専門学校
※洋裁、手芸作品のほかバザーもあります。

文化の香りがします